

# 百尺竿頭

ひゃく しゃく かん とう

札幌市青少年山の家だより

第42号

平成26年(2014年)1月1日発行



新年明けましておめでとうございます。

みなさま良いお年をお迎えのことと思います。

今年も、ご利用される皆さまにとって楽しく、有意義な活動ができる施設となるよう職員一同頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



【札幌市青少年山の家 職員一同】

## 「安全な野外活動に向けて」

札幌市青少年山の家

事業係長 山田 憲克

小学校6年生のときの修学旅行。道東のとある町に住んでいた私たちの旅行のメインは旭山動物園見学でした。動物好きの私にとっては、心から楽しみにしていた時間です。見学開始と同時に走り出した私。直後に側溝につまずき見事に転倒。そのまま医務室へ…。楽しいはずの動物園の記憶のほとんどが苦いものしかありません。

どんなに素晴らしい体験活動であっても、事故やケガが原因ですべてが台無し…ということは避けたいもの。私のように今でも心の中に消えずに残っているのは悲しい転倒の記憶だけ…なんてことにならないように。

とある研修会でプロの登山ガイドから学んだ安全管理の1つです。登山中の参加者から疲労の様子が見られたら掛ける魔法のコトバ。「ハイ！皆さん。足をあげて歩きましょう～う！」という一言。こんな簡単なことでかなり事故数を減らせるらしいです。確かに疲れてきたら足があがらず、つまずいて転倒なんて可能性は高くあります。足をあげて歩けば、つまずく可能性は低くなる！

つつい難しく考え過ぎてしまう安全管理。でも簡単なことからみつめ直して見るのも大切だなあと学びました。安全への近道は指導者も参加者も危険を予知し共有すること。その方法のひとつとして、参加者や子どもたちと一緒に「安全」や「危険」について考えることのできるプログラムをご紹介します。

## リスクマネジメントエクササイズ (公益社団法人 日本キャンプ協会)

野外活動のいろいろな場面における事故防止や安全対策を「自分自身がその場所にいたときどうするか」という観点でグループ討議をして、知識や方法を共有するもの。意見交換や共通理解をすすめる過程で様々な発見ができ、安全に関する多くの知識を得ることができます。

リスクマネジメントエクササイズ 事故対応・トラブル対応問題 5

### テントの中の蚊



みんなでテントで寝ていたところ、テントの中に数匹の蚊が入ってきて、寝つけない子どもがでてきた。よく見るとテントが古いので数箇所に穴が空いており、そこから蚊が入ってきたことがわかった。

そのときあなたはテントの中のリーダーとしてどうしますか？

- ① 蚊のいるところで寝るのもひとつの自然体験なので、そのまましておく。
- ② 殺虫剤等を使って蚊を退治し、そのあと虫除けスプレー等で蚊に刺されないようにして寝る。
- ③ みんなを起こしてテントの穴を調べ、蚊が入ってこないように応急処置をしてから寝る。

### リスクマネジメントエクササイズより

みんなでテントで寝ていたところ、テントの中に数匹の蚊が入ってきて、寝つけない子どもがでてきた。よく見るとテントが古いため数箇所に穴が空いており、そこから蚊が入ってきたことがわかった。そのときあなたはテントの中のリーダーとしてどうしますか？

- ①蚊のいるところで寝るのもひとつの自然体験。そのまましておく。
- ②殺虫剤等を使って蚊を退治し、そのあと虫除けスプレー等で蚊に刺されないようにして寝る。
- ③みんなを起こしてテントの穴を調べ、蚊が入ってこないように応急処置をしてから寝る。

## 子ども会 KYT みつけたキケンくん (公益社団法人 全国子ども会連合会)

公民館での話し合い活動、お楽しみ会等の集会活動、海・山での炊飯活動・野外キャンプ活動等、様々な子ども会の活動場面を想定した図を見ながら、1「どんな危険が隠れているか」や2「危険のポイントを絞り、どのようにしたら、危険を回避できるか」など、具体的な対策をグループで話し合い、実際の活動に生かしていく。



## 実施事業のご報告

■しめ縄飾り作り体験会 12月22日(日)、12月23日(月・祝)

2日間併せて17組の家族にご参加いただき実施した「しめ縄飾り作り体験会」。家族で協力して「玉じめ、輪じめ、ごぼうじめ、間じめ、車のしめ飾り」合計5種類のしめ縄飾りを製作しました。きれいなしめ飾りを作るため、藁をすく作業から始まり、それぞれのペースで作ったしめ縄飾りは、市販のものに見劣りしない作品となり、参加された方々は大変喜んでいました。



## 利用者アンケートより

○開館していただきありがとうございました。色々ご迷惑をおかけして申し訳ありません。野外が使えないのは残念でしたが、子どもたちの笑顔が見ることができ、良かったです。お世話になりました。またよろしくお願ひします。

⇒9月24日(火)より札幌市青少年山の家は臨時休館をしておりましたが、12月22日(日)より活動の範囲を館内のみとして開館いたしました。利用される皆さまにはご不便をおかけするかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

## 自然の 豆知識

雪が降り積もる寒い冬。春から秋にかけて活発に活動していた森の生き物たちも、この季節になると大人しくなるため、森の静けさに寂しささえ覚えます。

先日、窓から外を見てみると、雪上のあちらこちらにY字についた足跡がずっと続いているではありませんか！さてはて、この動物の正体はいったい誰なのでしょう・・・？

そう！この動物は「エゾユキウサギ」です。

冬に冬眠をする動物もありますが、エゾユキウサギは冬でも活発に活動しています。そして、エゾユキウサギは忍者のような動物なのです！

足跡をたどると、途中で枝分かれをしており、更にその先では突然足跡が消えることがあります。

これは「ウサギの止め足」と言って、外敵であるキツネなどから匂いで後を付けられないように工夫しているのです。また、夏の毛は茶褐色ですが、冬になると白い毛に生え変わり雪に紛れて外敵から身を隠しています。



そんな「隠れ身の術」が得意なエゾユキウサギ。

もし、窓から外を覗いてウサギの足跡を見つけることがあったら、先ほどまでそこにエゾユキウサギが居たのかもしれないね。

発行者：札幌市青少年山の家  
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）  
電話（011）591-0303 FAX（011）591-0394  
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>